

<第62回岡崎市民剣道大会 開催要項>

1 主管・主催：岡崎市剣道連盟

2 日 時：令和4年5月8日（日）

※集合時間については、新型コロナウイルス感染予防対策として部門ごとに設定し、参加人数等踏まえ後日連絡いたします。

3 場 所：岡崎市中心総合公園武道館（岡崎市高隆寺町 T e l 25-7887）

4 資 格：岡崎市剣道連盟会員（準会員含む）

※大会については、自己責任において参加してください。

5 種 別：①小学生1・2年の部 ②小学生3・4年の部 ③小学生5・6年の部
④中学生男子1・2年の部 ⑤中学生男子3年の部 ⑥中学生女子1・2年の部
⑦中学生女子3年の部 ⑧高校生男子の部 ⑨高校生女子の部
⑩一般男子の部 ⑪一般女子の部 ⑫家庭婦人の部
(⑪⑫は7名以下の場合、一般女子として合同で行う)

6 表 彰：各部門とも第3位まで表彰する（3位決定戦は行わない）

7 参 加 費：1人 500円（当日の保険料含む）

大会当日、受付にてお支払いください。なお、申し込み後は当日欠席者分の参加費もお支払い頂きます。

8 試 合 方 法：(1)全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び同細則

(2)新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法

(3)試合は個人戦トーナメント方式とする。

9 申 込：令和4年4月22日（金）必着（大会資料作成のため期日厳守）

申込書は、岡崎市剣道連盟ホームページよりダウンロードしてください。

申込書のデータを下記宛てへ送信してください。

●ファイル名：学校名（団体名）剣道大会申込 例：〇〇道場剣道大会申込

●ホームページ：<https://okazakishi.kendo.com/>

●提出先アドレス：okazakishi.kendo@gmail.com

データで提出ができない場合は、下記宛てへ郵送してください。

〒444-0244 岡崎市下青野町宝田14-1

10 備 考：(1)新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、本大会では竹刀検査は実施しません。各代表者の方は、必ず参加選手の竹刀の点検を実施して下さい。

- (2)本大会では、開会式における選手整列は行いません。表彰については、終わり次第距離を取りながら実施いたします。
- (3)選手は試合を行う時に面マスク及びシールドを必ず着用してください。面マスクは鼻を覆うように装着してください。
- (4)主催者は、本大会の運営については危険のないよう安全に留意しますが、万一事故が発生した場合、応急措置はいたします。その後は、連盟加入の保障範囲内で対応します。
- (5)本大会は全日本剣道連盟試合・審判規則ならびに細則により実施します。
なお、試合審判規則等と岡崎市剣道連盟大会ガイドラインが抵触する場合は、本大会においては大会ガイドラインを優先しますのでご了承ください。
- (7)試合終了後は、速やかに帰宅するようご協力お願いいたします。
- (8)大会当日、履物について下駄箱は使用せず、各自でビニール袋等持参し管理してください。なお、使用したビニール袋につきましては必ずお持ち帰りください。
- (9)目印（紅白タスキ）は、各自で用意してください。
- (10)新型コロナウイルス感染拡大状況により、大会開催が困難と判断した場合は、中止とします。
- (11)当日、会場内（施設）への入場人数は後日連絡いたします。

※選手並び関係者は、「岡崎市剣道連盟大会実施にあたっての感染症拡大予防ガイドライン」を必ず熟読しておいてください。



令和4年4月吉日

各位

岡崎市剣道連盟
理事長 鈴木 賢治

大会を開催するにあたり新型コロナウイルス感染症対策として 参加者および関係者が遵守すべき事項

◆ 以下の事項に該当する場合は参加を見合わせる事

- ☐ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭通などの症状がある場合）
体温が37.5度以上ある人や37度以上あり且つ風邪症状がある人
- ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察記録を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ☐ 基礎疾患のある人

*基礎疾患のある人が理由あって参加する場合は主治医の承認を得るものとする

◆ マスクを持参すること

- ☐ 競技中以外も常にマスクを着用すること（関係者もマスクをすること）
- ☐ 選手が試合を行う時は面マスクとマウスシールドを着用し面マスクは鼻を覆うように装着すること

◆ 選手は鑜ぜり合いをできるだけ避け、やむを得ず鑜ぜり合いになった場合は直ぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さないこと（引き技の発声は認める）

◆ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

◆ 他の参加者、関係者との距離（できるだけ2mを目安に最低1m）を

確保すること(障がい者の誘導や介助を行う場合は除く)

- ◆ 大きな声での会話、声を出しての応援等は禁止とする(応援は拍手のみ)
- ◆ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- ◆ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに感染の報告および濃厚接触者の有無等について報告すること
- ◆ 大会前後のミーティング等(先生による指導)においても三つの密を避けること
- ◆ 大会前後の懇親会等を控えること
- ◆ 靴を入れる袋を持参して、各自で靴の管理をすること
- ◆ 会場内へ入る時は必ず足の消毒を行うこと(会場入り口に主催者側で用意します)
- ◆ 自分の剣道具および竹刀、面手拭などを他人に使わせないこと
また他人の物を使わないこと(忘れ物をしないこと)
- ◆ ゴミ袋は自分で用意し持参した物、ゴミは必ず持ち帰り会場内で捨てないこと
- ◆ 試合が終了したら、速やかに会場(施設)から退出すること
- ◆ 大会参加確認票を必ず持参すること
- ◆ 参加者は観客席を控え場所とします
- ◆ 当日、会場内(施設)への入場人数については後日連絡します
- ◆ 着替えは原則自宅ですませておく
やむなく大会会場で更衣室(更衣場所は設けます)を利用する場合は密を避けるため人数制限をかけます
- ◆ 全日本剣道連盟、愛知県剣道連盟の「新型コロナウイルス感染症感染拡大対策の大会ガイドライン」に沿って行います
- ◆ プログラム、トーナメント表に選手の所属、氏名を記載しますが、本大会以外の目的には使用しない。また、各報道機関及び本協会ホームページに所属・氏名を掲載する場合があるので、参加者すべて承諾の上で参加してください。

令和 3 年 12 月 吉日

各位

岡 崎 市 剣 道 連 盟
理事長 鈴木 賢治

次ページのとおりに当連盟につきましては、全日本剣道連盟の指導に沿ったコロナ対策に準じて事業を展開してまいります。

全日本剣道連盟発信の次ページ「PCR・・・囲み罫線内の対応についての検査にかかる費用はそれぞれに個人負担して頂くこととなりますのでご承知おきください。
よろしくご理解、ご対応をお願いいたします。

以上

和3年8月9日

都道府県剣道連盟 御中

公益財団法人全日本剣道連盟

感染者が出た場合の PCR 検査・抗原検査の実施について

最近、全日本剣道連盟（以下、全剣連）の新型コロナウイルス感染症報告システムへの報告が増えています。これまでは剣道の稽古と直接的に関連しないものがほとんどだったのですが、デルタ株の流行拡大とともに、剣道人が稽古後に PCR 検査陽性となったという事例が増えつつあります。

この点、以下に大事なことをお知らせします。

これまでは、面マスクとフェイスシールドの着用により、相手からの直接的な飛沫による感染はほぼ防げていたのですが、感染性の高いデルタ株では目に見えないような空気に漂うマイクロ飛沫（＝間接的な飛沫）を浴びても感染が拡がることがわかっています。つまり、面マスクやフェイスシールドを着用していても、ウイルスを大量に排出している人が近くに居ると、感染が防げない可能性があるのです。

以上のことから、もし剣道の稽古後に同じ道場やクラブで感染者が出た場合には、稽古に参加していた人たち全員にも感染が拡がっている可能性があると考えべきです。

このことから、同じ稽古に参加していた人たちには、必ず全員、PCR 検査あるいは抗原検査を受けるように勧めてください。現在の厚生労働省の指針では、いわゆる濃厚接触者のみが検査を受ければいいのですが、デルタ株流行の折、全日本剣道連盟としては以下のようにお願いします。

「PCR 陽性者が出た場合、同じ稽古に参加していた人たち（見学者を含む）には全員、PCR 検査あるいは抗原検査を受けるように指示してください。そして、その最終的な結果を全剣連の新型コロナ報告システム
(https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdTeD0AC0ehwGm1_EQ5zvOH9rN_ZXQis2NGrVODxIRTKhFGVw/viewform) を用いて報告するようにお願い致します」。

以上